

国連海洋科学の 10 年 タウンホールミーティング

社会で躍動する「予測できる海」

2026年

8月29日(土) 13:00~15:00

下北文化会館 大ホール (入場無料)



事前参加申し込み

(締切 8/25 (火) 17:00)

※ 当日の参加申し込みも
歓迎します。

「国連海洋科学の 10 年」(2021-2030)では、海洋科学を発展させて海の豊かさを実現するためのとりくみをすすめています。むつ市で開催される国際研究ワークショップ「Toward Codesigning Sustainable and Fit-for-purpose Ocean Observing」では、世界各国の研究者たちが「国連海洋科学の 10 年」の目標のひとつである「予測できる海」実現のため海洋観測や海洋モデルなどの最先端のとりくみを議論します。ワークショップに参加する研究者たちが、社会応用がすすむ「予測できる海」のとりくみをわかりやすくご紹介するミーティングを開催します。

プログラム

- 13:00 歓迎のことば むつ市長 山本 知也
- 13:05 趣旨説明 気象庁気象研究所 藤井 陽介

【講演】

- 13:10 欧州で躍動する「予測できる海」(通訳付)
Elisabeth Remy (メルカトール国際海洋研究所(仏))
- 13:50 漁船観測によって予測できる海
広瀬 直毅 (九州大学、SFIn 代表)
- 14:10 海と地球のデジタルツインでひろがる応用
石川 洋一 (海洋研究開発機構)
- 14:30 青森県のとりくみ紹介
山本 隆久 (青森県農林水産部水産局)
- 14:45 質疑応答・討論
- 14:55 閉会挨拶 増田 周平 (海洋研究開発機構)

司会 FM むつパーソナリティ

問合せ：海洋研究開発機構 むつ研究所 TEL：0175-25-3811 e-mail：mutsuken@jamstec.go.jp

主 催：気象庁気象研究所

共 催：国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人日本海洋科学振興財団、京都大学
国連海洋科学の 10 年国内委員会、むつ市